

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 8月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3474600206
法人名	特定非営利活動法人高齢社会を生きる会
事業所名	安田いこいの家
所在地	広島県神石郡神石高原町安田677番地の1 (電 話) 0847 - 82 - 0560
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成20年7月23日

【情報提供票より】(20年 6月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 1 月 16 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10	常勤 7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 8.1 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,700 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6 月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.5 歳	最低 71 歳	最高 94 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	県立神石三和病院、三原医院、塚本歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯の中の旧小学校の建物をグループホームに改造して行なわれているもので、穏やかでゆったりしている場所にある。入居者は近から遊びに来た雰囲気与生活しておられのびのびとしておられる。施設としては地域にとけこむことも経営の柱にしておられ、地域との結びつきはまことによい。職員と入居者は楽しげに会話などしておられ、若い職員もその中にとけこむように努めておられた。これからもこの雰囲気が続けられることが期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との結びつきの取り組みや看取りの指針に家族の意見を反映させながらの取り組みなど改善へ向けての努力がよく見られた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	地域との関係をよりよいものにするために小規模多機能型居宅介護事業を立ち上げられ、地域により馴染まれるよう努力されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域で福祉関係をされている人たちを委員として取り組まれており、内容は入居者の生活に結びついたことが話し合われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者の日常生活に関するだけでなくグループホームの運営や入居者の将来のことまでを家族の方と話し合っておられる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入居者が地域の祭りなどに参加するだけでなく地域の人の訪問による結びつき、職員の地域活動への参加と多くの連携が見られる。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の人のためのグループホームとしての理念を作成し掲示しており、管理者以下職員はその目的達成に向かって働いている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は入社時によく説明されており、理念に基づいた介護を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域によくとけこんだホーム経営をされており、職員は地域活動に参加されている。今日もボランティアさんの活動で入居者と一緒の笑い声が聞こえていた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の内容を職員に話し皆で介護活動に活かす取り組みをしておられる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の参加者は利用者、利用者家族、地域代表、地域のボランティア、知見者、町職員で構成され、2ヶ月に1回開かれており、内容は入居者一人ひとりの生活状況とこれからの生活について話し合っておられる。		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町地域包括係とはよく連絡をとっている。(小規模多機能のサービス開始では町の協力がよく出ている。)		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会などに来られた際、家族とよく話をしている。生きる会通信を年数回発行してホームの様子などを知らせている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時や指針を定めるときには家族によく説明し、家族の意見を反映した運営をしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	地域の中での職場として取り組んでおり退職していく人は少ない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員を外部の研修に参加させその内容をレポートで全職員のレベルアップに努めている。なお、研修の参加費用は全額ホームが負担している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームどうしの交流はないが、ケアマネ・管理者は地域の福祉活動に参加している。		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望者とその家族にホームに来てその雰囲気を知ってもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の意向に沿った介護に力を入れておられる。職員は認知症対応がきちんとできるように努めておられる。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入所時に生活状況を詳しく聞き取り介護計画に反映している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員参加のサービス担当者会議を開いて介護計画を作っている。なお、日常ではハウレンソウノートに常に状態を記録し全職員がその情報を共有している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>家族の意見を入れた介護計画の見直しは6ヶ月ごとに行なわれている。見直し時にはサービス担当者会議が開かれている。</p>		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	今年4月から小規模多機能のサービスを始められた。地域にとけこむグループホームとするための努力がよくみられる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医へは職員が連れて行くこともあり医師の訪問看護もある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針を作成し家族に説明をしている。家族の要望を入れた看取り体制を作っておられる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの気持ちを大切に、プライバシーを確保する取り組みをしておられる。ミーティング時によく話し合っておられる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大正琴を楽しむ人やカラオケ、トランプなど毎日を楽しく過されている。		ケース記録に詳しく記録されており、その人の生活を楽しむように工夫されている。

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の いただきます の声で食事が始まる。職員も一緒に楽しく食事をされている。準備、片付けも一緒にされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は日曜日を除き毎日入れるようになっている。入居者の声を聞きながら楽しめるように努めておられる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	大正琴を弾く人、ボランティアグループとトランプを楽しむ人等楽しく過されている様子がよくうかがえる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月のミーティングで外出先の相談をしておられる。外出したときの様子を写真に取り家族に見せている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はいつも開いている。居室には鍵はつけていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	8月4日に消防署と避難訓練を計画しておられる。そのとき救急救命訓練も計画しておられる。		

グループホーム安田いこいの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活リズム、口腔ケア、食事量、水分補給量はチェックして記録しておられる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い廊下には椅子が用意されている。天井は高く明るい作りとなっている。シーツ交換、布団干し、パジャマ洗濯はきちんと記録されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く中には入居者が必要なものが持込まれている。		